

営農技術情報

発行 令和7年6月17日

第5号

たいせつ農業協同組合

営農部 農産販売課

本所 営農センター 57-2357

支所 営農センター 87-4111

マイマイガ（幼虫）大量発生による水稻被害について

本年、マイマイガの幼虫がメディアでも報道されるほど大量発生しており、当地区でも散見されております。また、マイマイガの幼虫による水稻被害の報告を受けており、下記条件にて被害の可能性がある為、該当するほ場での対策を講じましょう。

【被害発生の可能性がある条件】

- ・畦畔の草が管理されていない、また、その隣接したほ場
- ・山沿いなど、高い木が隣接しているほ場

【対策】

- ・畦畔などの草の管理の徹底
- ・早めの殺虫剤の散布※

※殺虫剤の種類につきましては、JA たいせつ「生産資材課」窓口までお問い合わせください。



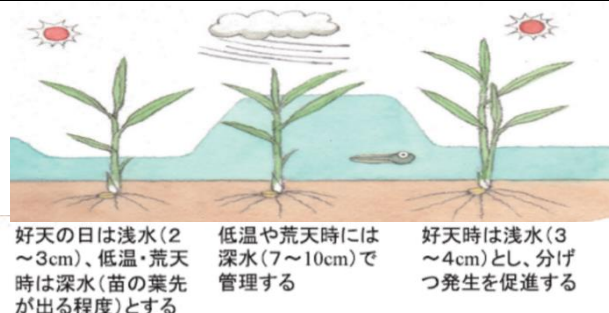
◆水田雑草の管理について

雑草が残ってしまったほ場は、中後期除草剤での体系防除へ切り替えを検討しましょう。

薬剤名	使用時期	散布適期	成分数	使用量(10a)	使用回数	主な適用雑草
クリンチャーEW	移植後25日～ 収穫30日前まで	ノビエ6葉期まで	1	100ml	2	ノビエ
クリンチャーバスME液剤	移植後25日～ 収穫50日前まで	ノビエ5葉期まで ホタルイ発生盛期～増殖中期まで	2	1,000ml	2	ノビエ ホタルイ
バサグラン粒剤	移植後20日～45日 収穫60日前まで	ホタルイ発生盛期～増殖中期まで オモダカ発生盛期～発生揃期まで	1	3～4 kg	1	ホタルイ オモダカ
アトトリ豆つぶ250	移植後20日～ 収穫45日前まで	シズイ草丈30cm以下 オモダカ発生盛期～矢尻葉3葉期まで	1	250g	1	シズイ オモダカ

◆分げつから幼穂形成期までの水管理

分げつは日較差（一日のうちの最高気温と最低気温の差）が大きければ大きいほど発生します。日中は浅水管理を実施し水温の確保に努め、分げつを促進しましょう。「早朝かん水・日中止水」を基本とし、風の強い日や低温時には深水管理をしましょう。



◆畦畔・敷地内への除草剤散布について

畦畔や敷地内への除草剤散布は、付近の作物への農薬ドリフトのリスクを高めます。作物への生育被害や残留農薬の検出があった場合、残留農薬の調査料や生育被害に応じた補償が発生する場合があります。もし散布を行わなければならない場合は飛散防止のカバー等を装着し風の弱い日に散布を行うなど、農薬ドリフトに対し細心の注意を払いましょう。